

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	01 05 04 01	重点政策分類	食	所管部課	経済環境部商工観光課
事務事業名	伊達市地場産業振興事業 (枚方市経済交流事業)			担当課長名	松山 和憲
総合計画分類	C D	名 称		作成者名	米田 未来
政策	01	産業		担当歴	平成 30 年度から
施策	05	活力ある工業・地場産業の振興		電話(内線)	534
基本事業	04	地場産品の研究開発・販路拡大		事業年度	開始年度 H19 終了(予定)年度 -
H29会計区分	1	一般会計		新継区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算科目	款	7	商工費	経費区分	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他
	項	1	商工費	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
	目	3	ウェルシーフード構想推進費	根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載
予算書上の事務事業名	地場産業活性化推進事業				

II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	出展事業者・大阪府枚方市及び周辺の住民・観光客		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 市民と協働	(委託・交付先等: 伊達市経済交流連絡協議会)			
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	伊達市の交流宣言都市である大阪府枚方市で行われる「友好・交流都市物産展」に出展し、道外へ伊達市PRと物販販路拡大を図る。								
	成果指標	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
① 売上額		千円	333	294	344	352	331	400	
② 入込数	人	5,000	6,000	7,500	7,100	11,400	11,400		
③									
成果指標の考え方・計算根拠等	地場産品のPRと販路拡大に関する取組について、出展の売上額と入込数を成果目標とした。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	協議会事業として枚方市が主催する物産展に各構成団体とともに参加する。								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載									
1 販売日数		日	2	2	2	2	2	2	
2									
3									
活動指標の考え方・計算根拠等	「友好・交流都市物産展」・・・例年11月中旬に2日間開催。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	物産展への継続した出展により知名度の拡大はあるものの、その後の販路拡大に大きく結びついていない。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組事項、設定した目標を具体的に記載								
	まちのPRと市民交流が主な目的であるため、地域を代表する地場産品としてじゃがいもやホタテ等を販売すると共に、インターネットショップのチラシや心の伊達市民パンフレット等を配布する。また、参加している他市町村との交流を図る。								
	上記の重点的取組事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他							
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	枚方市民や出展市町村に対する地場産品のPR						

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	01 05 04 01	重点政策分類	食	所管部課	経済環境部商工観光課
事務事業名	伊達市地場産業振興事業 (枚方市経済交流事業)			担当課長名	松山 和憲
			CD	作成者名	米田 未来
			01		

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
直接事業費 (A) 千円	280千円	280千円	250千円	250千円	250千円	250千円
国・道支出金 千円	280千円	280千円				
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円			250千円	250千円	250千円	250千円
参考人件費 (B) 千円	219千円	233千円	232千円	229千円	225千円	233千円
一般職員 千円	219千円	233千円	232千円	229千円	225千円	233千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,637千円	5,835千円
投入人員 人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,610千円	2,610千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
投入経費 C=(A+B) 千円	499千円	513千円	482千円	479千円	475千円	483千円
人件費比率 D=(B/C) %	43.9%	45.4%	48.1%	47.8%	47.4%	48.3%

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観点別評価	目的妥当性 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称:) 伊達市の豊富な食材を関西にPRすることができ、地場産品の知名度拡大にも結びついている。また、物販を通じ地域経済の振興を図るものであり市の関与が必要である。
	有効性① 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	物産展では伊達市の食材等が認知されてきているが、その後の販路拡大に大きく結びついていない。
	有効性② 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	ネット通販等で顧客の囲い込みを行うことにより、効果的な情報発信が可能になる。また、枚方地域や出展事業者へのPRにより販路開拓が見込まれる。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input type="checkbox"/> 経費削減は難しい	売上が増加すれば、協議会の負担が軽減され経費の節減は可能と考えられる。
	公平性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ 現状は野菜とホタテが主な販売物となっており、将来的には更なる収益の見込める品物(加工品等)の追加の検討も必要。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	関西圏での会場へのリピーターが増え、毎年出品しているホタテやじゃがいも・かぼちゃ等北海道ならではの産品イメージが浸透し、認知度は参加の都度向上している。枚方市での当該イベントは、市民をはじめ、全国の参加市町村と交流することにより、各種情報交換だけでなく、販路拡大等経済的な効果をもたらす可能性も期待できることから、今後も継続すべきである。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	市民交流都市である大阪府枚方市の「ひらかた友好・交流都市物産展」に市や関係団体等が協働で参加して本市の農水産物など地場産品をPRし、かつ同市の経済団体等と情報交換を行うことで、引き続き、市民交流と経済交流を促進していく。

◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業

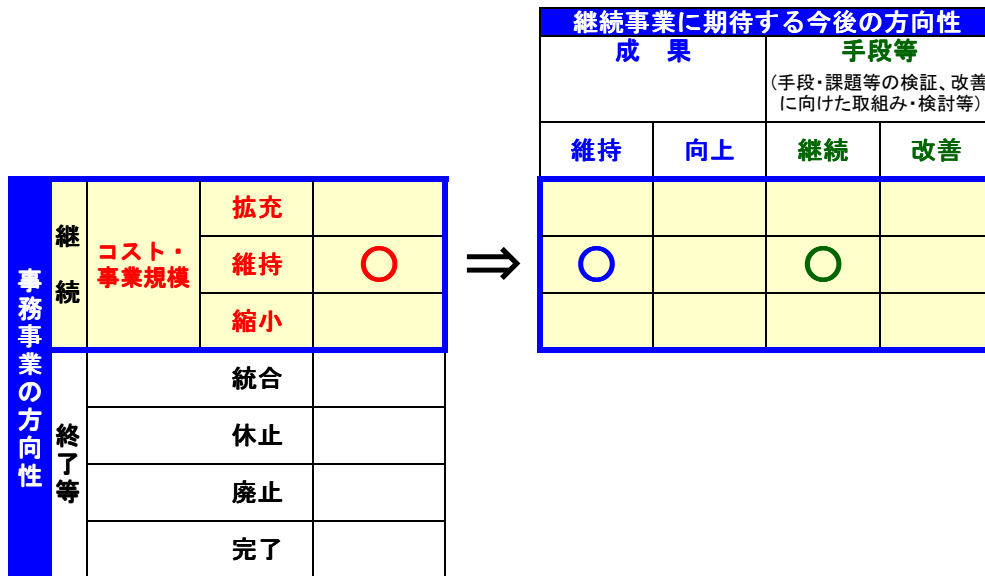
総合計画統括CD	01	05	04	01	重点政策分類	食
事務事業名	伊達市地場産業振興事業 (枚方市経済交流事業)				事業CD	01

所管部課	経済環境部商工観光課
担当課長名	松山 和憲
作成者名	米田 未来

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価	
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○		
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○	
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△	
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○	△
			大きく向上できる	○	
			向上を期待できる	△	
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○	
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		△		
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○	
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		△	
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		△	

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

北海道伊達市の特産品をPRするとともに、認知度向上につながるイベントであることから、今後も枚方地域の経済団体等と連携し、さらなる販路拡大や経済交流を期待します。